



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社日本動物高度医療センター 上場取引所 東
コード番号 6039 URL http://www.jarmec.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 秀博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石川 隆行 TEL 044(850)1320
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,115	6.9	345	△24.4	335	△20.5	220	△21.2
2023年3月期第3四半期	2,915	30.7	456	38.1	421	27.4	279	25.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 220百万円 (△21.2%) 2023年3月期第3四半期 279百万円 (25.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	80.21	79.03
2023年3月期第3四半期	119.75	117.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,506	3,886	45.7
2023年3月期	8,578	3,706	43.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,886百万円 2023年3月期 3,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,140	6.9	555	△4.4	565	5.8	385	1.1	140.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	2,836,200株	2023年3月期	2,836,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	120,116株	2023年3月期	101,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	2,750,103株	2023年3月期3Q	2,336,967株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計上の見積りの変更)	6
3. 補足説明	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかに回復しました。鉱工業生産は、供給制約の緩和から自動車を持ち直しましたが、海外経済減速に伴う輸出の低迷を受けて、一進一退の動きとなりました。個人消費は、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスを中心に回復しましたが、物価高の影響で一部に弱い動きが見られました。設備投資は、高水準の企業収益を背景に底堅く推移していましたが、持ち直しに足踏みが見られました。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、全国動物病院数は増加を続けており、また、犬猫の高齢化に伴い疾病が多様化する中で飼い主の動物医療に対する多様化・高度化要請は高まってきております。

このような環境の中、当社グループは、飼い主のかかりつけ病院（一次診療施設）と連携して高度医療への取り組みを続けるとともに、当社グループ内の診療実績を発表するための学会報告を積極的に行うことにより、動物医療業界における信頼の獲得、認知度の向上と、それに伴う紹介症例数の増加に努めてまいりました。

2023年7月以降、既存病院における診療スタッフ増強により診療能力が向上したこと、大阪病院が順調に推移していること、7月に再開した川崎本院の放射線治療が堅調に推移していること等から症例数は増加を続けており、10月～12月は四半期としては過去最高の売上、利益を計上しました。

一方で大阪病院の開院に伴い院内備品を購入するなどの一時的な費用発生や、人件費及び減価償却費の増加によりコストは上昇しました。

大阪病院は引き続き人材の充実により症例受入れ能力の増強を図りつつ、将来の業容拡大に向けた放射線治療施設を建設中であります。2024年5月に予定している放射線治療の開始により成長の促進を図ります。

また、全国展開の一環として、第5の二次診療施設となる新病院の物件選定を行っております。

以上の結果、二次診療サービスにおきましては、初診数（新規に受け入れた症例数）は6,090件（前年同期比4.8%増）、総診療数（初診数と再診数の合計）は21,294件（前年同期比0.3%減）、手術数は1,847件（前年同期比7.5%増）となりました。

画像診断サービスにおきましては、一次診療施設への営業活動強化と新サービスの導入により検査件数は増加しました。

健康管理機器レンタル・販売サービスにおきましては、代理店との関係強化施策を推進しました。電気用品安全法上の不備に関する対応の影響もあり、レンタル数・販売数は横ばいとなりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,115,417千円（前年同期比6.9%増）、営業利益は345,585千円（前年同期比24.4%減）、経常利益は335,161千円（前年同期比20.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は220,611千円（前年同期比21.2%減）と増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,895,002千円となり、前連結会計年度末に比べ501,719千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が444,013千円、商品が15,275千円、未収還付消費税等が61,294千円減少したことによるものであります。固定資産は6,611,696千円となり、前連結会計年度末に比べ429,522千円増加いたしました。これは主に大阪病院開院及び川崎本院放射線治療機器入替えに伴う工具、器具及び備品の取得によるものであります。

この結果、総資産は、8,506,699千円となり、前連結会計年度末に比べ72,197千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,050,343千円となり、前連結会計年度末に比べ219,501千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が48,985千円増加した一方で未払金が225,973千円、未払法人税等が113,909千円、賞与引当金が32,597千円減少したことによるものであります。また、固定負債は3,570,031千円となり、前連結会計年度末に比べ32,981千円減少いたしました。これは主に繰延税金負債の減少及び長期借入金の返済によるものであります。

この結果、負債合計は、4,620,374千円となり、前連結会計年度末に比べ252,483千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,886,324千円となり、前連結会計年度末に比べ180,286千円増加いたしました。これは主に自己株式の取得により85,900千円減少した一方で自己株式の処分により45,584千円増加及び親会社株主に帰属する四半期純利益220,611千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

なお、2024年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、2023年5月11日付「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,916,039	1,472,026
売掛金及び契約資産	263,369	276,520
商品	95,691	80,415
原材料及び貯蔵品	31,157	22,283
その他	100,080	54,316
貸倒引当金	△9,616	△10,559
流動資産合計	2,396,722	1,895,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,217,472	2,148,381
工具、器具及び備品(純額)	859,266	1,279,061
土地	2,248,337	2,248,337
その他(純額)	8,211	82,677
有形固定資産合計	5,333,288	5,758,459
無形固定資産		
のれん	183,328	168,051
商標権	391,917	359,257
その他	32,990	37,307
無形固定資産合計	608,236	564,616
投資その他の資産	240,649	288,621
固定資産合計	6,182,174	6,611,696
資産合計	8,578,896	8,506,699
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,316	70,790
1年内返済予定の長期借入金	582,517	631,503
未払法人税等	149,073	35,164
賞与引当金	87,386	54,789
その他	367,551	258,096
流動負債合計	1,269,845	1,050,343
固定負債		
長期借入金	3,393,164	3,382,967
退職給付に係る負債	34,100	35,700
繰延税金負債	118,013	98,096
資産除去債務	40,944	41,281
その他	16,790	11,985
固定負債合計	3,603,013	3,570,031
負債合計	4,872,858	4,620,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	791,100	791,100
資本剰余金	711,137	704,086
利益剰余金	2,375,457	2,596,059
自己株式	△171,656	△204,922
株主資本合計	3,706,038	3,886,324
純資産合計	3,706,038	3,886,324
負債純資産合計	8,578,896	8,506,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,915,250	3,115,417
売上原価	1,817,754	2,063,395
売上総利益	1,097,495	1,052,022
販売費及び一般管理費	640,631	706,437
営業利益	456,863	345,585
営業外収益		
受取家賃	17,520	17,648
保険解約返戻金	863	2,641
物品売却益	5,518	—
その他	7,621	7,435
営業外収益合計	31,524	27,725
営業外費用		
支払利息	13,362	14,113
資金調達費用	3,374	2,530
固定資産除却損	11,607	19,386
株式交付費	35,948	—
その他	2,616	2,119
営業外費用合計	66,909	38,149
経常利益	421,478	335,161
特別利益		
固定資産売却益	28	1,524
特別利益合計	28	1,524
税金等調整前四半期純利益	421,506	336,685
法人税等	141,653	116,073
四半期純利益	279,853	220,611
親会社株主に帰属する四半期純利益	279,853	220,611

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	279,853	220,611
四半期包括利益	279,853	220,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279,853	220,611

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社の工具、器具及び備品の耐用年数につきましては、法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、大阪病院の開院準備を契機に、有形固定資産の使用実態の調査を行った結果、一部の工具、器具及び備品について耐用年数をより実態に即した経済的使用可能予測期間に基づく耐用年数に見直し、将来にわたって変更しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ57,495千円増加しております。

3. 補足説明

当社グループは、動物医療関連事業の単一セグメントであります。つきましては、補足情報として、主要な売上の区分についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

(単位：千円・%)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
二次診療サービス	1,961,843	67.3	2,115,406	67.9
画像診断サービス	353,383	12.1	403,264	12.9
健康管理機器レンタル・販売サービス	590,908	20.3	591,540	19.0
その他	9,115	0.3	5,205	0.2
顧客との契約から生じる収益	2,915,250	100.0	3,115,417	100.0
外部顧客への売上高	2,915,250	100.0	3,115,417	100.0

(注) グループ間の取引については相殺消去しております。